



[NTT HOME](#) > [NTT持株会社ニュースリリース](#) > [2012年](#) > NTT全社員(約3,000人)を対象に最新ICT技術を活用した健康増進トライアルを拡大

NTT持株会社ニュースリリース

(報道発表資料)

2012年12月10日

日本電信電話株式会社
エヌ・ティ・ティ健康保険組合
NTT東日本関東病院

NTT全社員(約3,000人)を対象に最新ICT技術を活用した健康増進トライアルを拡大 ～医療費増大の問題解決へ向けた健康増進・疾病予防への取り組み～

日本電信電話株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長: 鶴浦 博夫、以下NTT)、エヌ・ティ・ティ健康保険組合(東京都千代田区、理事長: 島田 明、以下NTT健保)、NTT東日本関東病院(東京都品川区、院長: 落合 慈之、以下 関東病院)は、NTT社員の自律的な健康増進の効率的支援を目的として、2012年12月10日よりNTT全社員を対象に、ICT技術を活用した健康増進トライアルを開始します。

1. 本トライアルの背景

高齢化の急速な進展に伴って日本の医療費は著しく増大しています。国によれば、国民医療費の約3割が生活習慣病によるものとされており、生活習慣病の徹底的な予防によって医療費を大幅に適正化することができます。NTTグループにおいても、生活習慣病の医療費全体に占める割合は高止まりしています。社員の健康状態を維持・向上させ、ひいては医療費の適正化を行って行く上では、生活習慣病の予防、管理が重要ですが、症状の顕在化までに時間を要する生活習慣病では予防の取り組みを継続的に実施することが必要です。

NTT、NTT健保、関東病院では、生活習慣病の効率的、効果的な予防に向け、産業医であるNTT東日本首都圏健康管理センタの協力の下、2012年6月よりNTTモニタ社員200人を対象に、ICTを活用した健康増進トライアルを行ってきました。また、テルウェル東日本株式会社との連携により、10月より社員食堂において低カロリー、減塩メニューを提供してきました。その結果、健康への意識の高まり、行動の変化および健康状態の一定の改善が確認できたことから、トライアルをNTT全社員へ拡大し、健康増進の取り組み効果の本格検証を実施することとしました。

2. トライアルの概要

トライアルでは、社員の継続的な健康増進への取り組みの支援策として、簡単な操作で健康状態の記録・見える化を行う最新のICT技術等とともに、職場のコミュニティを活用した施策を実施します。また、効率性の向上を目指して、関東病院の保健医学的ノウハウを活用した生活習慣病予防・管理プログラムを開発します。さらに、首都圏健管の産業医ノウハウ、各種電子データの活用により健康増進への取り組みへPDCAプロセスを導入、計画の具体化と実施、効果の評価、計画見直しまでを一連のサイクルとして実施し、施策の継続的な改善をはかります(別紙1 [□](#))。

具体的な施策としては、まずNTT健保が管理する健診、レセプトデータの分析により、重点的に予防すべき生活習慣病を特定、その予防のための健康増進施策を策定します。社員個人に対しては、本人の健診データに基づく健康リスクの提示による気づきの機会、健康増進に必要な保健医学的知識の提供、個人のリスクに応じた目標管理・フォローアップを通じて、自律的な健康増進の支援等を行い、健康増進・疾病予防への取り組みを強化します。トライアル開始時点では、運動(カロリー消費)を中心とした取り組みを実施しますが、食事(カロリー摂取)に関する取り組みとしても、社員食堂におけるヘルシーメニューの提供、社員のカロリーコントロールの支援等、健康増進への取り組みを行っていきます。

3. トライアルのポイント

モチベーションの維持向上による継続支援(別紙2□、3□)

- 簡単な操作で健康状態の記録・見える化を実現する最新のICT技術を活用した仕組みを提供、社員個人の取り組みによる健康状態の変化への気付きを促し、継続を支援します。

具体的には、参加者へNFC(Felica Plug)※1に対応した活動量計等を貸与、スマートフォンとのタッチによりPHR(Personal Health Record)※2へのデータの自動登録、スマートフォン上でのグラフ表示による成果の見える化等を行います※3。また、Continua※4設計ガイドラインに準拠した最新のBluetooth 内蔵体重計と血圧計を職場へ設置し、体重や血圧の計測・登録と、データ見える化を簡便に実現します※5。

- 歩数ランキング等のアプリケーションの提供により、仲間と楽しく競い合う等、ゲーム的要素を導入することで取り組みへのモチベーション向上を図ります。

保健医学ノウハウの活用

- 首都圏健管の産業医としての保健医学ノウハウを活用の上、トライアルの実施計画策定と評価を行い、効果的な健康増進の取り組みに向けてPDCAサイクルを導入します。
- 関東病院の保健医学ノウハウを活用、個人のリスクに応じた取り組み目標の設定と予実管理により、継続的に取り組みをフォローアップする生活習慣病予防・管理プログラム(運動、疾病管理等)を開発します。さらに、社員の健康情報、健診データ等の分析を通じて、継続的に新しいプログラムを開発、トライアルフィールド上にて効果を検証します。

医療経済的視点を含めた定量的評価

- トライアルによって得られた運動等への取り組み状況と、体重、血圧等の健康情報、健診データ、生活習慣病関連医療費等の相関を分析することで、施策実施に伴う疾病リスクの低減度、将来における医療費の適正化効果等、施策実施の投資対効果について定量的に評価します。

4. 各社の役割

- NTT
 - トライアルフィールドの提供
 - 最新のICT技術、医療・健康ビッグデータ分析技術の提供
- NTT健保
 - NTT健保が管理するデータに加え、トライアルで蓄積された各種データの分析・評価に基づく施策の改善検討
- 関東病院
 - 生活習慣病の予防、管理に関する保健医学ノウハウのトライアルへの提供
 - データ分析に基づく新しい生活習慣病予防コンセプトの探索とトライアルフィールドにおける効果の検証

5. 今後の展開

本トライアルを通じて、生活習慣病の自律的予防・管理の実施手法とともに、施策の実施効果に関する医療経済的視点を含めた定量的な評価手法を確立し、ICT技術を活用した保健施策の運用効果について定量的なエビデンスを蓄積します。最終的には、健康増進及び医療費の適正化等を目指していくとともに、得られたICT活用ノウハウをもとに、自治体・民間事業者への水平展開を行い、これを通じて、日本の医療費増大の問題解決への貢献を目指していきます。

※1 NFC(Near Field Communiation):十数cm程度の至近距離でデータ通信を行なう近距離無線通信の国際標準の一つで、Felica Plugの上位互換となる方式。FeliCa Plugとは、搭載する電子機器製品とFeliCa対応リーダー/ライターやおサイフケータイとの間のデータ転送を可能にする、有線端子付き無線インターフェース機能を持つ製品の総称です。Felicaはソニー株式会社の登録商標です。おサイフケータイは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。

※2 本トライアルで利用するPHRはContinuaガイドラインに準拠した情報流通IF、OpenIDによるSSO(Single Sign On)機能等を具備しており、NTTセキュアプラットフォーム研究所が開発しました。

※3 本トライアルで利用するNFC対応のAndroidアプリケーションはNTTとエヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社が連携して開発しました。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

※4 Continua:様々な医療健康機器、システムやサービス間でのシームレスな情報連携を実現するための標準規格。

※5 本トライアルで利用するContinua対応のAndroidアプリケーションは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモが開発しました。

別紙・参考資料

- ▶ [別紙1 健康増進トライアルの概要](#)
- ▶ [別紙2 健康増進トライアルシステムの概要](#)
- ▶ [別紙3 トライアル参加者の取り組みイメージ](#)

本件に関するお問い合わせ先

■ 日本電信電話株式会社

Tel:03-5205-5391

ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

[NTT持株会社ニュースリリース インデックスへ](#)

NTT持株会社 ニュースリリース

▶ [最新ニュースリリース](#)

▶ [バックナンバー](#)

▶ [English is Here](#)

NTT持株会社 ニュースリリース内検索

1997 ▼ 年 04 ▼

月 ~

2021 ▼ 年 11 ▼ 月

NTTグループの情報は
こちらからもご覧いただけます。



[▲ このページの先頭へ](#)